



設定ソフトウェア

型名 **WD-ZS10**

ユーザーズガイド

もくじ

はじめに

- このユーザーズガイドの見かた 3
 - 本文中の記号の見かた 3
 - 本書の記載内容について 3
- 動作環境 3
 - 接続可能な PC 3
 - 使用上のご注意 3
 - OS へのログインについて 3
 - アプリケーションの起動について 3
 - アプリケーションのご使用について 3
- 設定ソフトウェア WD-ZS10 とは 3

準備

- 接続 4
- インストール手順 4
 - アプリケーションのインストール 4
 - USB ドライバーのインストール 6
- アンインストール手順 6

アプリケーションを起動する

- 設定ソフトウェア WD-ZS10 を起動する 7
- ランチャーダイアログ 7
 - ランチャーダイアログ 7

アプリケーションを使う

- 端末登録 8
 - 無線で端末を登録する 8
 - 端末登録（無線）画面 8
 - 有線で端末を登録する 9
 - 端末登録（有線）画面 9
- システム設定 12
 - 各部の名称と基本操作 12
 - システム設定画面 12
 - 設定するモデルを選択する 13
 - 親機と子機を切り換える（WD-D10PBS のみ） 13
 - システム設定の読み込みと書き込み 14
 - システム設定を読み込む 14
 - システム設定を書き込む 14
 - WD-D10PBS（親機モード）設定 15
 - システム 15
 - 外部音声入出力 16
 - ボタン 17
 - ボタン割り当て 18
 - 音量 19
 - RF 20
 - その他 21
 - WD-D10PBS（子機モード） / WD-D10TR 設定 22
 - システム 22
 - ボタン 23
 - ボタン割り当て 25
 - 音量 26
 - RF 26
 - その他 26

- WD-D10BS 設定 27
 - システム 27
 - 外部音声入出力 28
 - RF 29
 - 音質モードと外部音声入出力モードの組み合わせによるグループの設定 30
- ログ表示 31
 - ログ表示を開く 31
 - ログ表示画面 31
- 接続状況確認 31
 - 接続状況表示を開く 31
 - 接続状況確認画面（WD-D10BS 親機モード） 31
 - 接続状況確認画面（WD-D10PBS 親機モード） 31
 - 接続状況確認画面（WD-D10PBS 子機モード / WD-D10TR） 32
- 無線設定更新 33
 - 設定を書き込む 33
 - 無線設定更新画面 33
- ファームウェア更新 35
 - ファームウェア更新画面を開く 35
 - 有線でファームウェアを更新する 35
 - 無線でファームウェアを更新する 37
 - ファームウェア更新画面 37
- 端末の電源を入れる / 切る 39
 - WD-D10BS の電源を入れる / 切る 39
 - 電源を入れる 39
 - 電源を切る 39
 - WD-D10PBS / WD-D10TR の電源を入れる / 切る 39
 - 電源を入れる 39
 - 電源を切る 39

その他

- こんなときは 40

このユーザーズガイドの見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意： 操作上の注意が書かれています。
- メモ： 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 設定に関する用語や設定方法の詳細は、デジタルインターカムシステム WD-D10 シリーズの「取扱説明書」または「設計・施工マニュアル」をご覧ください。
- 本書では、特に記載がない限り、Windows 7 の画面にて説明しています。

動作環境

設定ソフトウェア WD-ZS10 は、以下のようなパソコン (PC) 環境での動作確認を行っております。動作環境は 2016 年 4 月現在のものです。最新の動作環境については JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

接続可能な PC

- OS : ・ Windows 7 日本語版
・ Windows 8.1 日本語版
・ Windows 10 日本語版
・ Microsoft .NET Framework 4.5 または 4.6
※ Windows 8.1 は、モダン UI からデスクトップ画面に切り換えた状態で動作します。
※ Windows 10 は、デスクトップモードでの使用をお勧めします。
- CPU、メモリ : 各 OS で推奨される環境
- ディスプレイ : 1024 ドット× 768 ドット以上
- HDD : アプリケーションのインストールに 50 MB 以上の空き容量が必要
- インターフェース : USB
・ PC 側 : Type A
・ WD-D10PBS/WD-D10TR/WD-D10BS 側 : Micro B

メモ：

- PC の仕様は、アプリケーションを快適にお使いいただくためのめやすであり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしている PC をお使いでも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。
- Microsoft .NET Framework は、Microsoft のホームページから別途インストールしてください。
- Microsoft, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

使用上のご注意

■ OS へのログインについて

アプリケーション使用時のユーザー権限は、Administrator で行なってください。

■ アプリケーションの起動について

- ・ アプリケーションの起動中にユーザーの切り換えは行わないでください。

■ アプリケーションのご使用について

設定ソフトウェア WD-ZS10 をインストールした PC では、パワーセーブ機能、レジューム機能を使用しないでください。通信状態や通信データが不安定になることがあります。(お使いの PC によってはパワーセーブ機能・レジューム機能の名称が異なる場合があります。)

設定ソフトウェア WD-ZS10 とは

設定ソフトウェア WD-ZS10 は、デジタルインターカムシステム WD-D10 シリーズの各種設定や、接続の管理などを行うアプリケーションです。

- 各端末のシステム設定の読み込みや変更を行い、ファイルとして保存することができます。
- 接続している端末への設定の書き込みができます。
- 接続している端末に、他の端末を子機として登録することができます。
- 端末のファームウェアを更新することができます。
- ・ 適用機種：
 - ポータブルベースステーション WD-D10PBS
 - ポータブルトランシーバー WD-D10TR
 - ベースステーション WD-D10BS

メモ：

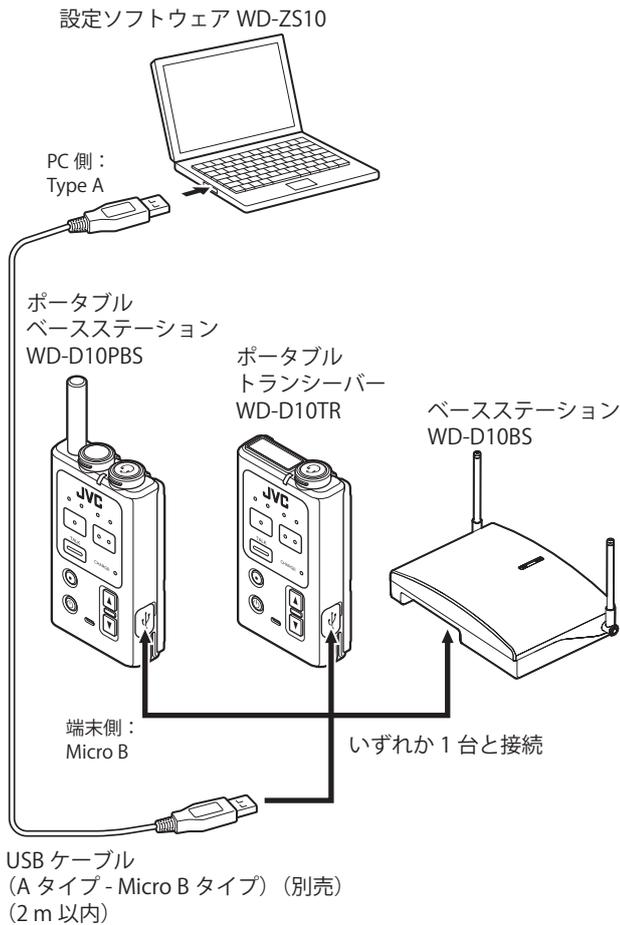
- 本書では WD-D10PBS、WD-D10TR、WD-D10BS を「端末」と表記しています。
- 設定ソフトウェア WD-ZS10 は最新バージョンをお使いください。

接続

設定ソフトウェア WD-ZS10 をインストールした PC と、デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-D10 シリーズの端末 (WD-D10PBS、WD-D10TR、WD-D10BS) を接続します。

メモ：

- PC に 2 台以上同時に端末を接続しても通信できません。通信を行う 1 台のみを接続してください。



ご注意：

- WD-D10PBS と WD-D10TR はデータ設定端末から USB ケーブルを外したあとは、端子キャップを必ず取り付けてください。端子キャップを取り付けるときは中に押し込んでキャップが浮かないようにしてください。キャップの浮きがあると防水性能に影響を与える場合があります。

【OK】



【NG】



インストール手順

設定ソフトウェア WD-ZS10 のインストールやアンインストールを行うときは、Administrator 権限を持つユーザーで PC にログインします。

Administrator 権限やユーザーアカウントの設定については、お使いの OS のヘルプを参照してください。

メモ：

- インストールを開始する前に、ウイルス対策ユーティリティを解除してください。ウイルス対策ユーティリティは、「WD-ZS10」のインストールの妨げとなることがあります。Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 およびアンチウイルスソフトは、パーソナルファイアウォール機能を搭載しているものがあります。この機能が「ON」になっていると正常にインストールできないことがあります。この場合は「OFF」に設定してお使いください。

アプリケーションのインストール

1 インストーラーを起動し、[次へ] をクリックする

ダウンロードした「WD-ZS10」ファイル式にある WD-ZS10 フォルダ内の「Setup.msi」をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。



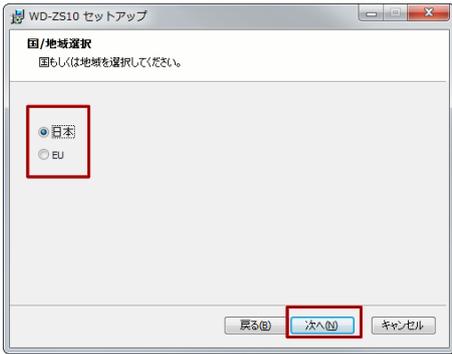
2 国 / 地域を選択する

WD-ZS10 を使用する国 / 地域を選択します。

選択肢は、「EU」と「日本 / Japan」があります。

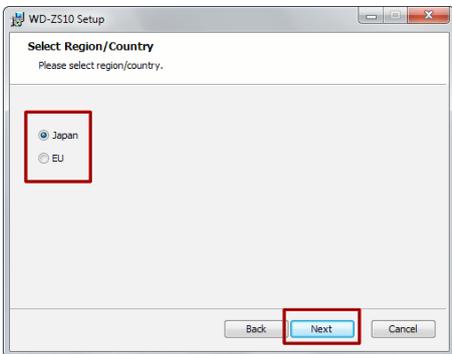
OS 言語が日本語のとき、国 / 地域の選択画面は日本語で表示されます。OS 言語が日本語以外のときは、国 / 地域の選択画面は英語で表示されます。

【OS 言語が日本語のとき】



「国/地域」から「日本」を選択し、[次へ]をクリックします。

【OS 言語が日本語以外のとき】



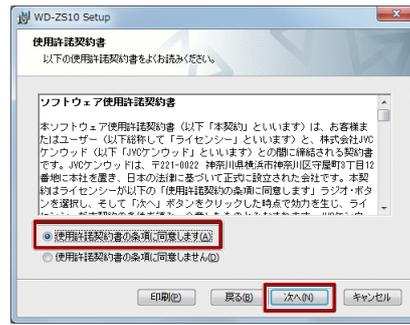
「Region/Country」から「Japan」を選択し、[Next]をクリックします。

ご注意：

- 国/地域の選択画面で、「EU」を選択すると EU モデル (WD-K10 シリーズ) 用の英語表記のアプリケーションがインストールされ、日本モデル (WD-D10 シリーズ) は設定できませんのでご注意ください。
- インストールのあと、表示言語の日本語 / 英語を切り換えることはできません。表示言語を切り換えるには再度インストールしてください。
- 1 つの PC に日本語版 WD-ZS10 と英語版 WD-ZS10 の両方をインストールすることはできません。

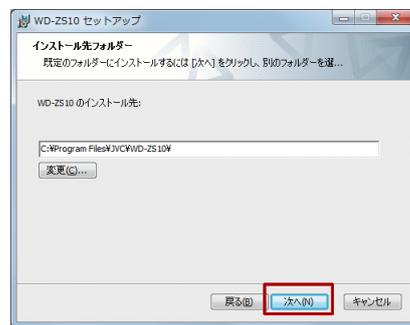
3 “ソフトウェア使用許諾契約書”を確認する

同意する場合には、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、「次へ」をクリックします。
同意しない場合は、[使用許諾契約の条項に同意しません]を選択し、「キャンセル」をクリックしてインストールを中止します。



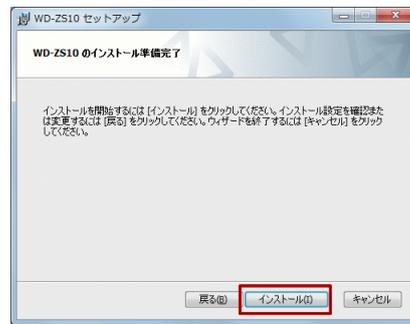
4 インストールするフォルダを選択し、[次へ]をクリックする

フォルダを変更する場合は [変更] をクリックし、フォルダを指定します。



5 [インストール] をクリックする

インストールが開始されます。
入力した内容を修正する場合は [戻る] をクリックして、設定しなおします。



メモ：

- お使いの PC の設定によっては、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。[はい] をクリックして、インストールを続行してください。



6 [完了] をクリックする

インストールが完了します。



USB ドライバーのインストール

デジタルワイヤレスインターカムシステム WD-D10 シリーズの各端末を電源を ON にした PC に接続すると、必要なドライバが自動でインストールされます。

使用する端末に合わせて、正しく接続してください。

([P.4](#) ページ)

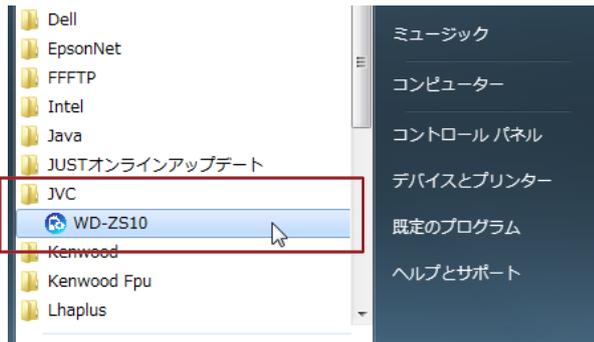
アンインストール手順

設定ソフトウェア WD-ZS10 のアンインストールは次の手順で行います。

- 1 Windows のコントロールパネルから、「プログラムと機能」を選択する
- 2 現在インストールされているプログラムの一覧から、「WD-ZS10」を選択し、アンインストールする
- 3 アンインストールを確認するメッセージを確認し、[OK] をクリックする

設定ソフトウェア WD-ZS10 を起動する

- 1 スタートメニューで「スタート」 — 「すべてのプログラム」 — 「JVC」の順にクリックする
- 2 「WD-ZS10」をクリックする



※ 画面は Windows 7 のものです。

JVC ロゴの表示画面が出たあと、ランチャーダイアログが起動します。

【JVC ロゴ表示画面】



【ランチャーダイアログ】



ランチャーダイアログ

■ ランチャーダイアログ



① メニュー

ランチャーダイアログ上部のメニューバーでは、以下の機能が使用できます。

メニュー		内容
ファイル	終了	アプリケーションを終了します。
オプション	サービスモード	サービス用のメニューです。通常は使用しません。
ヘルプ	ヘルプ	アプリケーションのユーザーズガイド（本書）が表示されます。
	バージョン情報	アプリケーションのバージョン情報が表示されます。

② ボタン

WD-ZS10 の各機能や設定画面は、ランチャーダイアログのボタンをクリックすると起動します。

ボタン	機能	参照ページ
システム設定	システム設定を起動します。	☞ 12 ページ
端末登録	有線または無線で端末の登録を行います。	☞ 8 ページ
ログ表示	動作ログやエラーログを確認します。	☞ 31 ページ
接続状況確認	現在接続している親機と、各スロットに接続している子機の情報を確認します。	☞ 31 ページ
無線設定更新	無線通信にて子機の設定内容を更新します。	☞ 33 ページ
ファームウェア更新	端末のファームウェア更新を行います。	☞ 35 ページ
終了	WD-ZS10 を終了します。	—

端末登録

デジタルインターカムシステム WD-D10 シリーズのシステムを稼動するには、それぞれの端末が通信を行う相手（親機にはすべての子機、子機には親機）の情報の登録が必要です。

端末登録には、「無線登録」と「有線登録」の2種類の登録方法があります。

システムの構築を行なうときは、はじめに「親機への子機登録」を行い、次に「子機への親機登録」を行います。

ここでは WD-ZS10 を使った端末の登録方法を説明します。

メモ：

- WD-ZS10 を使用せず、端末のみを使用して端末を登録することもできます。詳しくは、各端末の取扱説明書をご覧ください。
- 端末登録は1台ずつ順番に行ってください。

無線で端末を登録する

PC に接続している親機（WD-D10PBS（親機モード）または WD-D10BS）に、無線通信によって子機の情報を登録します。

メモ：

- WD-ZS10 の端末登録（無線）では、子機に親機を登録することはできません。子機への親機の登録は端末登録（有線）（※9 ページ）または端末を使った子機登録で行なってください。
- 一斉通話中の端末がある場合は、無線通信による子機登録はできません。

1 ランチャーダイアログで「端末登録」をクリックする

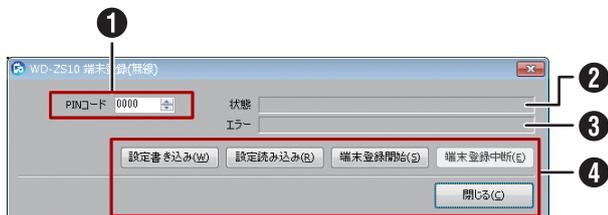
端末登録メニューが開きます。

2 [無線登録] をクリックする



端末登録（無線）画面が開きます。

■ 端末登録（無線）画面



① PIN コード

第三者による端末の無断使用を防ぐための暗証番号です。PC に接続している端末の PIN コードを自動的に読み込んで表示されます。PIN コードを編集し、端末に書き込むこともできます。

メモ：

- PIN コードは任意の4桁の数字を入力します。
- [設定書き込み] をクリックすると設定が端末に書き込まれます。

② 状態

端末登録機能動作中の状態が表示されます。

③ エラー

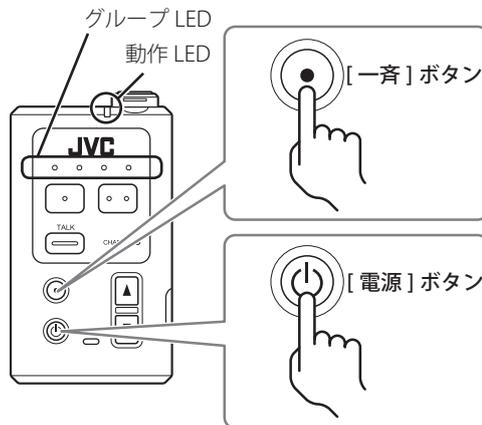
端末登録機能動作中にエラーが発生した場合、エラー内容が表示されます。

④ 操作ボタン

ボタン	内容
設定書き込み	編集した PIN コードを接続している端末に書き込みます。
設定読み込み	接続している端末の PIN コードを読み込みます。
端末登録開始	接続している端末の端末登録機能を開始します。
端末登録中断	端末登録を停止します。
閉じる	端末登録（無線）画面を閉じます。

3 登録する子機の登録モードを起動する

子機の [一斉] ボタンを押しながら [電源] ボタンを長押しして、動作 LED が緑色に点灯しグループ LED がすべて点滅するまで押し続けてください。登録モードで起動します。



4 端末登録（無線）画面で [端末登録開始] をクリックする

親機が自動的に無線登録モードに切り換わり、端末登録を開始します。



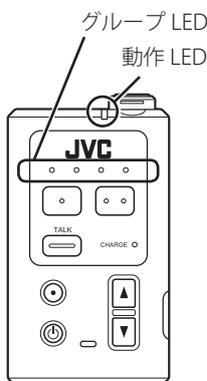
【登録に成功した場合】：

子機の動作 LED が緑色に点灯し、グループ LED がすべて点灯します。

【登録に失敗した場合】：

子機の動作 LED が緑色に点灯し、グループ LED がすべて消灯します。

端末の電源を切ってから、手順 3 に戻り再度登録モードで登録しなおしてください。



メモ：

- 途中で登録を停止させるには [端末登録中断] をクリックしてください。

5 すべての端末登録が成功したら端末登録（無線）画面で [端末登録中断] をクリックする



6 [閉じる] をクリックする。登録完了です。



有線で端末を登録する

PC に親機と子機を接続し、WD-ZS10 で読み込んだことのある端末一覧から、親機に子機情報の登録を、子機に親機情報の登録を行います。また、リストにある端末を削除することもできます。

メモ：

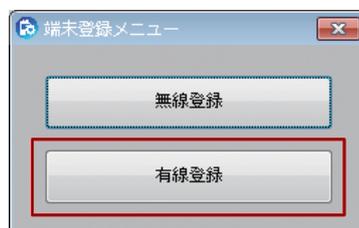
- 電波状況が悪いときや、電波使用ができないところでの登録には有線登録が便利です。
- 子機には親機を最大 6 台登録できますが、親機を複数稼働させるシステムを構築する場合、子機を毎回決まった親機に接続させるには、「端末登録」の端末設定リストに表示される番号順と、システム設定の「ベース選択」の番号を一致させることで子機を毎回決まった親機に接続させることができます。
- ベースリンク型システムのサブ親機に子機を登録することはできません。メイン親機に対して子機登録を行ってください。
- 親機を親機へ、子機を子機へ登録することはできません。

1 子機を PC に接続する

2 ランチャーダイアログで「端末登録」をクリックする

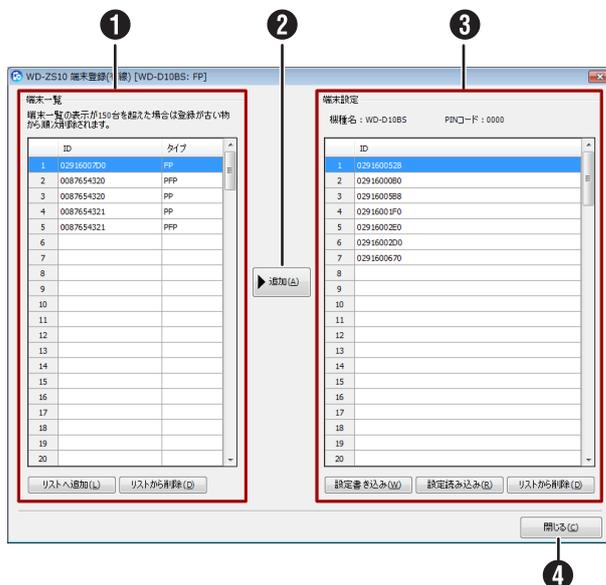
端末登録メニューが開きます。

3 [有線登録] をクリックする



端末登録（有線）画面が開きます。

■ 端末登録（有線）画面



アプリケーションを使う

① 端末一覧

過去に PC に接続し、WD-ZS10 で読み込んだ端末の情報が最大 150 台まで表示されます。選択した端末を「端末設定」のリストへ追加できます。

項目	内容
ID	端末の ID が表示されます。 端末一覧のタイトルセル "ID" はクリックすると、ID 順に並び替えを行います。
タイプ	端末のタイプが表示されます。 PP (子機) / FP (親機 (ベースステーション)) / PFP (親機)
リストへ追加	PC に接続している端末を「端末一覧」のリストに登録します。
リストから削除	表示している端末の ID を選択し (複数可) リストから削除します。 削除する前に確認画面が表示されます。

② [追加] ボタン

「端末一覧」で選択した端末を「端末設定」リストに追加します。

③ 端末設定

PC に接続されている端末に登録されている親機または子機の情報が表示されます。

項目	内容
機種名	PC に接続している端末のモデル名が表示されます。
PIN コード	PC に接続している端末の PIN コードが表示されます。
ID	端末の ID が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 親機が接続されている場合： 登録されている子機の ID が最大 108 台まで表示されます。 子機が接続されている場合： 登録されている親機の ID が最大 6 台まで表示されます。 ID の表示順は登録順に表示し、タイトルセル "ID" をクリックすることで ID 昇順、ID 降順、ID 登録順に並び替えを行います。
設定書き込み	編集した「端末設定」リストの内容を、PC に接続されている端末に書き込みます。
設定読み込み	PC に接続されている端末から設定を読み込みます。機種名、PIN コードおよび「端末設定」リストの内容が更新されます。
リストから削除	選択している端末をリストから削除します。

④ [閉じる] ボタン

端末登録 (有線) 画面を閉じます。

4 端末登録 (有線) 画面の「端末一覧」リストに子機の ID が登録されたことを確認する

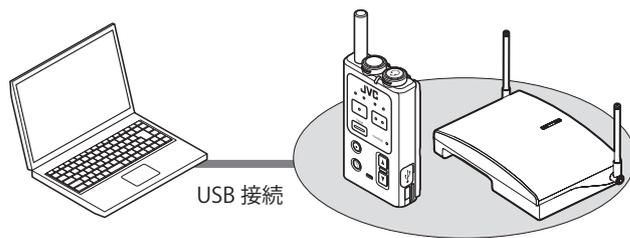
子機の ID はタイプ PP です。



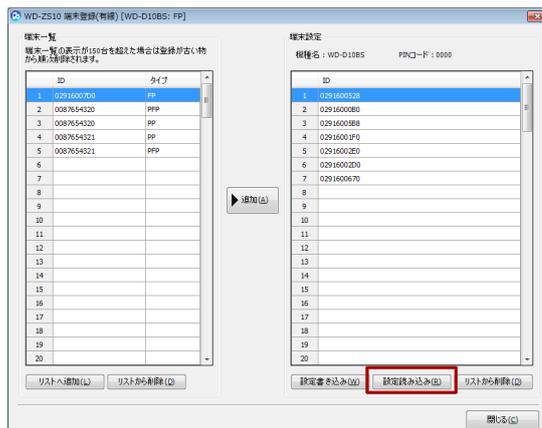
メモ：

- WD-ZS10 への子機の ID 登録は一度登録すれば次回からの登録は不要です。

5 親機を PC に接続する



6 端末登録 (有線) 画面の「設定読み込み」をクリックする

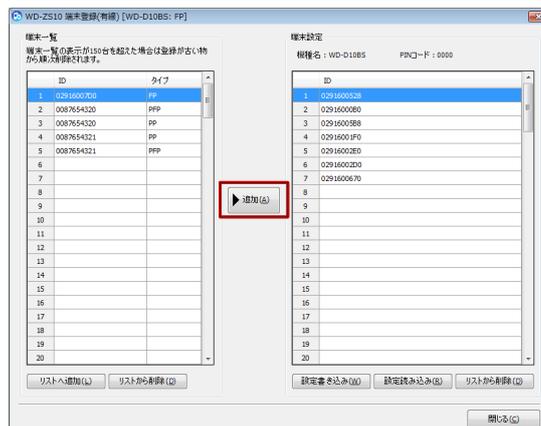


7 端末登録 (有線) 画面の「端末一覧」リストから、登録したい子機の ID を選択する



8 [追加] をクリックして「端末設定」リストに追加する

選択した子機の ID が「端末設定」リストに追加されます。さらに登録済みの端末を追加する場合は、「端末一覧」リストの [リストへ追加] ボタンを押してから、手順 5 ~ 6 を繰り返します。



アプリケーションを使う

メモ:

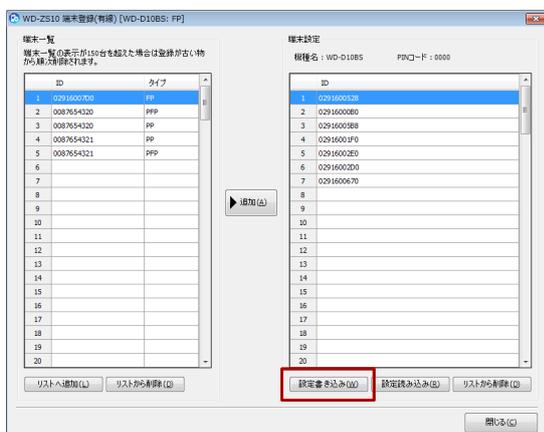
- 選択した端末の ID をドラッグ&ドロップする、または選択した端末の ID の右クリックメニューで、「端末設定へ追加」をクリックしても、「端末設定」リストに追加することができます。



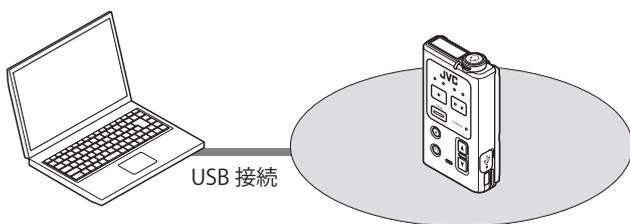
- すでに「端末設定」リストに登録されている子機の ID は追加できません。

9 「設定書き込み」をクリックする

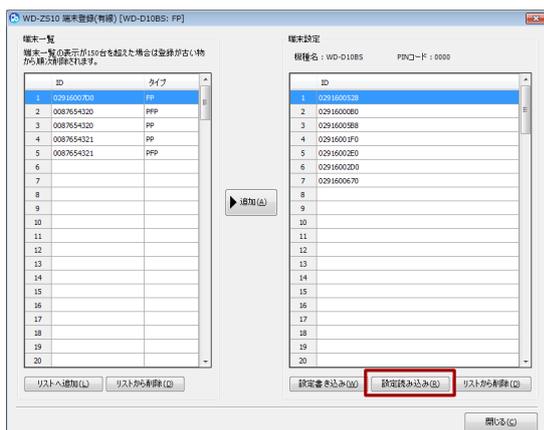
編集した子機情報の内容が、接続されている親機に書き込まれます。



10 子機を PC に接続する



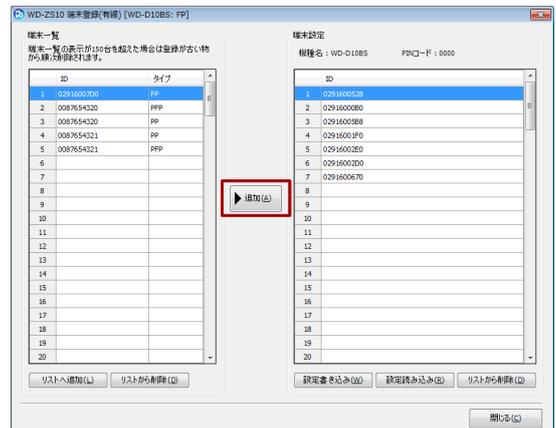
11 「設定読み込み」をクリックする



12 端末登録 (有線) 画面の「端末一覧」リストから、登録したい親機の ID を選択する
親機の ID はタイプ PFP もしくは FP (ベースステーション) です。

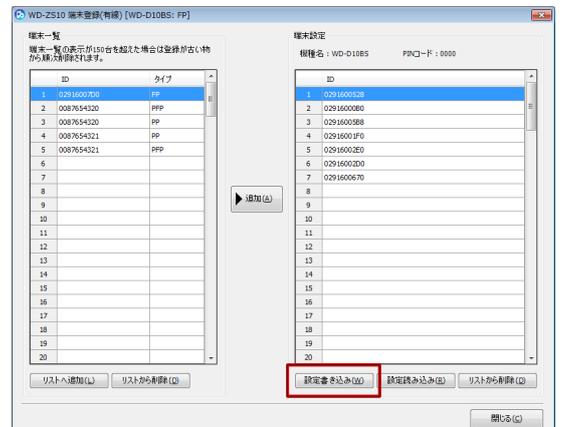
13 「追加」をクリックして「端末設定」リストに追加する

選択した親機の ID が「端末設定」リストに追加されます。



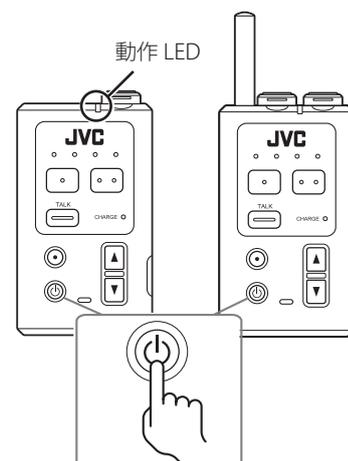
14 「設定書き込み」をクリックする

編集した子機情報の内容が、接続されている親機に書き込まれます。



15 端末登録した親機と子機の電源を入れる

電源を入れると自動で親機と子機が通信し、子機の動作 LED が緑色に点滅したら完了です。



システム設定

デジタルインターカムシステム WD-D10 シリーズのシステム設定を行います。接続している端末との間で、設定の読み込みや書き込みができます。

メモ：

- 接続されている端末のモデルによって設定できる内容は異なります。
- 端末が接続されていない場合でも、設定データの保存や印刷を行うことができます。

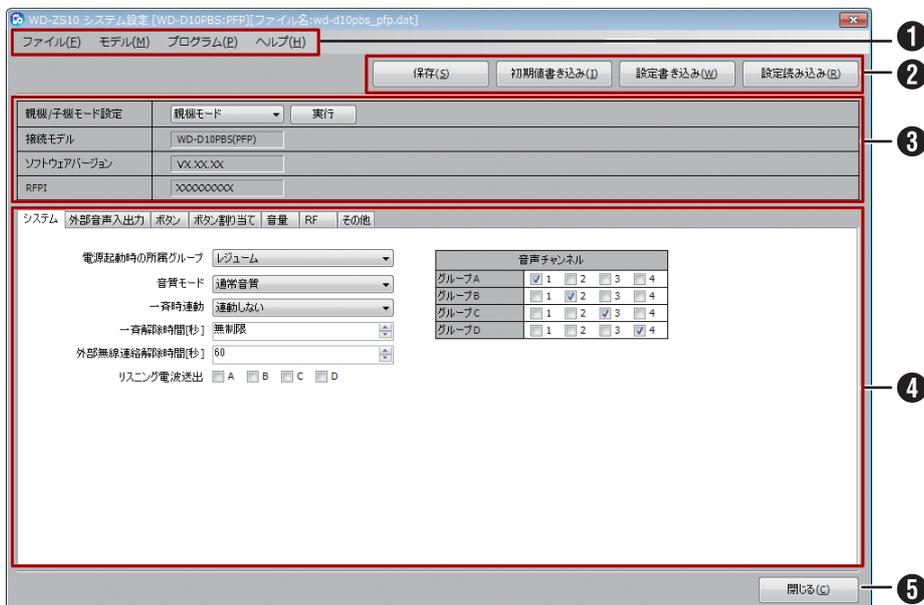
1 ランチャーダイアログで「システム設定」をクリックする

接続されている端末のシステム設定データを自動的に読み込んでシステム設定画面が表示されます。

各部の名称と基本操作

端末の各モデル（WD-D10PBS/WD-D10TR/WD-D10BS）で共通の画面と操作方法について説明します。

■ システム設定画面



1 メニューバー

	メニュー	内容
ファイル	新規作成	新規に設定データファイルを作成します。
	開く	保存してある設定ファイルを読み込みます。
	上書き保存	編集した設定データを保存します。
	名前をつけて保存	編集した設定データを新規のファイルとして保存します。
	印刷	設定データを印刷します。
	印刷プレビュー	設定データの印刷プレビューが表示されます。
	終了	システム設定を終了します。
モデル	機種選択	設定するモデルタイプを変更します。
	製品情報	接続している端末の製造番号が表示されます。
プログラム	データの書き込み	編集した設定を接続している端末に書き込みます。
	データの読み込み	接続している端末の設定を読み込みます。
	初期値の書き込み	接続している端末の設定を初期値に戻します。
ヘルプ	ヘルプ	アプリケーションの取扱説明書が表示されます。
	バージョン情報	アプリケーションのバージョンが表示されます。

アプリケーションを使う

② 操作ボタン

ボタン	内容
保存	編集した設定を PC にデータファイルとして保存します。 メニューバーのファイルから「名前をつけて保存」したフォルダーに上書き保存します。
初期値書き込み	接続している端末の設定を初期値に戻します。
設定書き込み	編集した設定を接続している端末に書き込みます。
設定読み込み	接続している端末の設定を読み込みます。

③ 端末情報表示部

項目	内容
親機 / 子機モード設定	WD-D10PBS の親機モード / 子機モードを切り換えます。(※ 13 ページ)
接続モデル	接続されている端末のモデル名が表示されます。
ソフトウェアバージョン	接続されている端末のソフトウェアバージョンが表示されます。
RFPI/IPEI	接続されている端末の REPI/IPEI が表示されます。

④ 設定欄

文字や数値を入力したり、プルダウンから項目を選択して設定を編集します。

表示されるタブや設定項目は設定するモデルによって異なります。

⑤ [閉じる] ボタン

システム設定画面を閉じます。

■ 設定するモデルを選択する

端末が PC に接続されていない場合は、設定するモデルを選択します。

1 メニューバーから「モデル」 — 「機種選択」をクリックする

2 プルダウンから設定するモデルを選択する

「WD-D10PBS」、「WD-D10TR」、または「WD-D10BS」から選択できます。



3 [OK] をクリックする

「全てのデータは初期化されます。」と表示されます。

4 [OK] をクリックする

選択したモデルの初期設定データが表示されます。

メモ： _____

- 端末が接続されている場合は、端末のモデルタイプが自動的に読み込まれます。接続されている端末と異なるモデルの設定データは、端末へ書き込むことはできません。

■ 親機と子機を切り換える (WD-D10PBS のみ)

WD-D10PBS は親機としても子機としても使用できます。システム設定を行う場合は、親機モードか子機モードのどちらかを選択します。

1 端末情報表示部の「親機 / 子機モード設定」プルダウンからモードを選択する



2 [実行] をクリックする

確認画面が表示されます。

3 [OK] をクリックする

接続された端末を選択されたモードで再起動し、自動的に端末の設定の読み込みます。



メモ： _____

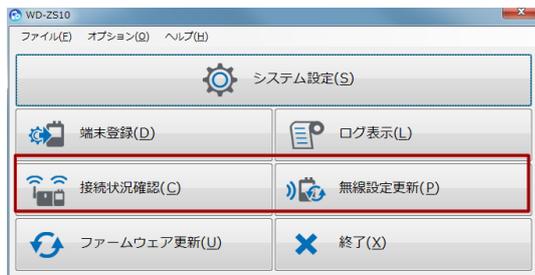
- 端末が接続されていないときに親機 / 子機モードを切り換えた場合は、選択したモードの初期設定データが表示されます。

システム設定の読み込みと書き込み

■ システム設定を読み込む

システム設定画面を表示した状態で接続されている端末のシステム設定データを読み込みます。

1 ランチャーダイアログで「システム設定」をクリックする



接続されている端末のシステム設定データを自動的に読み込んで表示されます。

メモ：

- 端末が接続されていない場合は、前回設定したモデルの初期値が表示されます。はじめて起動する場合は、WD-D10PBS（親機モード）の初期値が表示されます。端末を接続せずに設定を続ける場合は、設定するモデルを選択してください。（☞ 13 ページ）

2 端末を接続する

3 [設定読み込み] をクリックする

接続されている端末のシステム設定データが表示されます。



■ システム設定を書き込む

接続している端末のシステム設定を変更し、端末に書き込みます。端末に設定を書き込まずに、PC に設定を保存することもできます。

1 ランチャーダイアログで「システム設定」をクリックし、システム設定画面を開く

2 設定する項目のタブをクリックし、設定を変更する



表示されるタブや設定項目は、設定するモデルによって異なります。

- ・ WD-D10PBS（親機モード）：☞ 15 ページ
- ・ WD-D10PBS（子機モード）、WD-D10TR：☞ 22 ページ
- ・ WD-D10BS：☞ 27 ページ

3 [設定書き込み] をクリックする



メモ：

- 設定を書き込まずに PC に保存するときは [保存] をクリックします。

4 [OK] をクリックする

接続している端末に変更した設定が書き込まれます。WD-D10PBS および WD-D10TR はこの時点で設定内容が反映されます。

5 WD-D10BS に設定内容を反映させる

WD-D10BS では、この時点で設定内容は反映されていません。以下のどちらかを実施し、設定内容を反映させてください。

- ・ 接続している全ての端末の電源を切る
- ・ WD-D10BS の電源を入れ直す

WD-D10PBS（親機モード）設定

■ システム

システムに関する設定を行います。



*：初期設定値

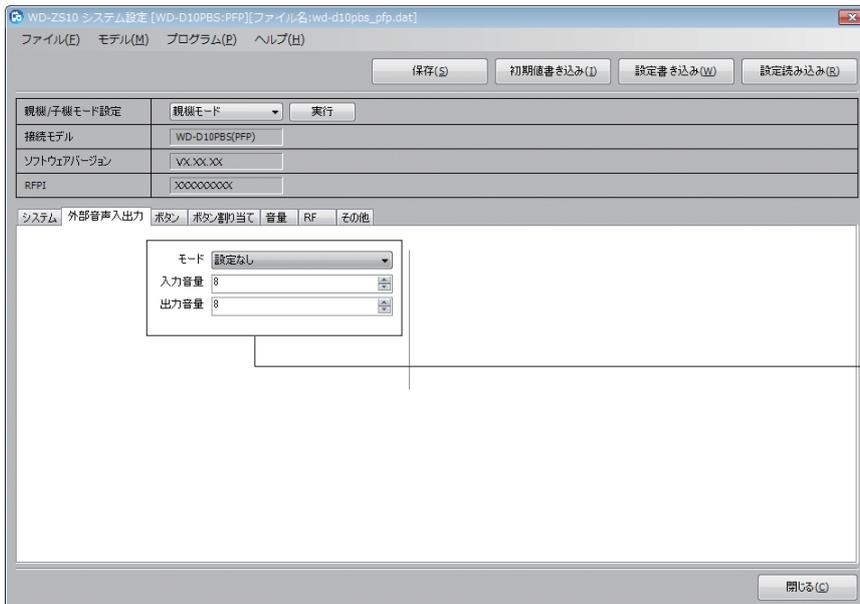
項目	設定値	内容
電源起動時の所属グループ	レジューム * / グループ A / グループ B / グループ C / グループ D	電源起動直後に本機が所属するグループを設定します。 「レジューム」に設定すると、前回電源を切ったときに所属していたグループに接続します。
音質モード	通常音質 * / 高音質	音質を設定します。
一斉時連動	連動しない * / 外部無線連絡	一斉通話時に外部無線連絡機能と連動するか否かを設定します。
一斉解除時間	無制限 *、10～1800 秒	一斉状態を強制的に解除する時間を設定します。
外部無線連絡解除時間	無制限、10～1800 秒 (60 秒 *)	外部無線連絡状態を強制的に解除する時間を設定します。
リスニング電波送出	A B C D チェック / チェックなし *	リスニングモード中に電波を送出するか否かを設定します。 電波を送出するグループにチェックを付けます。
音声チャンネル	グループ A 音声チャンネル 1* / 2 / 3 / 4 グループ B 音声チャンネル 1 / 2* / 3 / 4 グループ C 音声チャンネル 1 / 2 / 3* / 4 グループ D 音声チャンネル 1 / 2 / 3 / 4*	グループ A～D に音声チャンネル 1～4 を割り当てます。 ひとつのグループに対して、複数の音声チャンネルを設定することもできます。

メモ：

- システム設定の「音質モード」を「高音質」に設定すると、「通常音質」に対して複数の通信を束ねて通信の帯域幅を拡大することで高音域の音も伝送でき、「通常音質」よりも明瞭でより聞き取りやすい高音質モードでの通話が可能となります。
- システム設定の「リスニング電波送出」は通信チャンネルを使用するため、グループを増やした場合、子機の最大接続台数に影響があります。通常音質モードでは、2 グループ以上チェックした場合、最大接続台数が 1 台ずつ減少します。高音質モードでは、1 グループ以上チェックした場合、最大接続台数が 1 台ずつ減少します。
- 高音質モードでは、「リスニング電波送出」と「音声チャンネル」のグループ C と D は使用できません。

■ 外部音声入出力

外部音声の入出力に関する設定を行います。



「モード」を「外部無線連絡」に設定すると追加表示する「外部無線連絡」のグループ設定画面



*：初期設定値

項目	設定値	内容
モード	設定なし* / 外部無線連絡	外部音声入出力のモードを選択します。 ・ 外部無線連絡： 接続された外部無線機器との間で、音声の入出力を行います。
入力音量	1 ~ 15 (8*)	外部からの入力音声の音量を設定します。
出力音量	1 ~ 15 (8*)	外部への出力音声の音量を設定します。
外部無線連絡	グループ	A* / B / C / D 外部無線機器からの音声やほかのグループ通話の音声を送信するグループを設定します。

メモ：

- 「外部無線連絡」のグループ設定は、「モード」を「外部無線連絡」に設定したときのみ表示されます。
- システム設定 (☞ 15 ページ) の「音質モード」を「高音質」に設定すると、「外部無線連絡」のグループ C と D は使用できません。
- 外部音声入出力設定の「モード」を「外部無線連絡」に設定すると、その他設定 (☞ 21 ページ) の「充電時端末動作」は「自動電源 OFF する」に設定します。

アプリケーションを使う

■ ボタン

ボタン動作に関する設定をします。



「トークボタン動作」の「機能連動」を「外部無線連絡」に設定すると追加表示される設定画面例



*：初期設定値

項目	設定値	内容
長押し時間	0.5 ～ 5.0 秒 (1.0 秒 *)	ボタンの長押し判定時間を設定します。
本体トークボタン	チェック／チェックなし *	コントロールマイク接続時に本体のトークボタンを使用するか否かを設定します。コントロールマイクロボンのトークボタンと本体のトークボタンの両方を使用する場合はチェックを付けます。
トークボタン動作	トーク * / ホールド / VOX	トークボタンを押したときの動作設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> トーク： トークボタンを押している間、通話することができます。 ホールド： トークボタンを一度押すと通話状態になり、もう一度押すと通話を終了します。 VOX： 音声に反応して自動的にマイクが ON になります。トークボタンを押すことなくハンズフリー通話ができます。
機能連動	連動しない * / 外部無線連絡	「トークボタン動作」を「トーク」または「ホールド」に設定した場合に表示されます。トークボタンの動作に外部無線連絡の開始、終了を連動させるか否かを設定します。
開始連動	連動しない * / 連動する	「機能連動」を「外部無線連絡」に設定している場合に表示されます。トークボタンが ON されたとき、外部無線連絡開始を連動させるか否かを設定します。
終了連動	連動しない * / 連動する	「機能連動」を「外部無線連絡」に設定している場合に表示されます。トークボタンが OFF されたとき、外部無線連絡終了を連動させるか否かを設定します。
ホールドお知らせ音	チェック／チェックなし *	「トークボタン動作」を「ホールド」に設定した場合に、通話状態のオンまたはオフ時に切り換え音をならすか否かを設定します。
ホールド自動オフ時間	無制限 *, 10 ～ 1800 秒	「トークボタン動作」を「ホールド」に設定した場合に、トークボタンを押して通話状態になってから自動で通話を終了するまでの時間を設定します。
VOX 感度調整	1 ～ 5 (3*)	「トークボタン動作」を「VOX」に設定した場合の通話音声の検出感度を設定します。
VOX 終了遅延時間	0 ～ 10 秒 (4 秒 *)	「トークボタン動作」を「VOX」に設定した場合の通話終了時の無音検出時間を設定します。
メニュー割り当て	トークボタン動作 VOX 感度調整 マイクゲイン	WD-D10PBS の設定メニューモードで使用する項目を設定します。
キーロック	キーロック機能 対象ボタン	キーロック機能を使うか否かを設定します。 機能 1 ボタン、機能 2 ボタン、一斉ボタンそれぞれに対してキーロックのオンオフを設定します。

メモ：

- システム設定 (E22 ページ) の「運用モード」を「リスニングモード」に設定した場合、「VOX」による通話ができなくなります。

アプリケーションを使う

■ ボタン割り当て

本機の機能ボタンに割り当てる機能を設定します。



*：初期設定値

項目	設定値	内容	
機能	機能 1 ボタン 機能 2 ボタン 機能 1 ボタン (長押し) 機能 2 ボタン (長押し) 一斉ボタン 一斉ボタン (長押し)	機能なし * / 外部無線連絡 / トークボタン動作切替 / グループ切替 機能なし * / 外部無線連絡 / トークボタン動作切替 / グループ切替 / 外部無線連絡 (トーク連動) 機能なし * / 外部無線連絡 / トークボタン動作切替 / グループ切替 機能なし / 外部無線連絡 / トークボタン動作切替 / グループ切替 / 外部無線連絡 (トーク連動) / 一斉 * 機能なし * / ホールド / VOX	本機の機能 1 ボタン、機能 2 ボタンに割り当てる機能を設定します。短押しと長押しのそれぞれに機能を割り当てることができます。 本機の一斉ボタンに割り当てる機能を設定します。短押しと長押しのそれぞれに機能を割り当てることができます。 「一斉」に設定すると、すべてのグループの端末と通話を行うことができます。
トークボタン	トーク *	「機能」を「トークボタン動作切替」に設定した場合に設定できません。割り当てられたボタンを押すと一時的に切り換わるトークボタン動作を設定します。	
グループ切り替え	A B C D	チェック * / チェックなし 「機能」を「グループ切替」に設定した場合に設定できます。切り換え対象グループを設定します。	

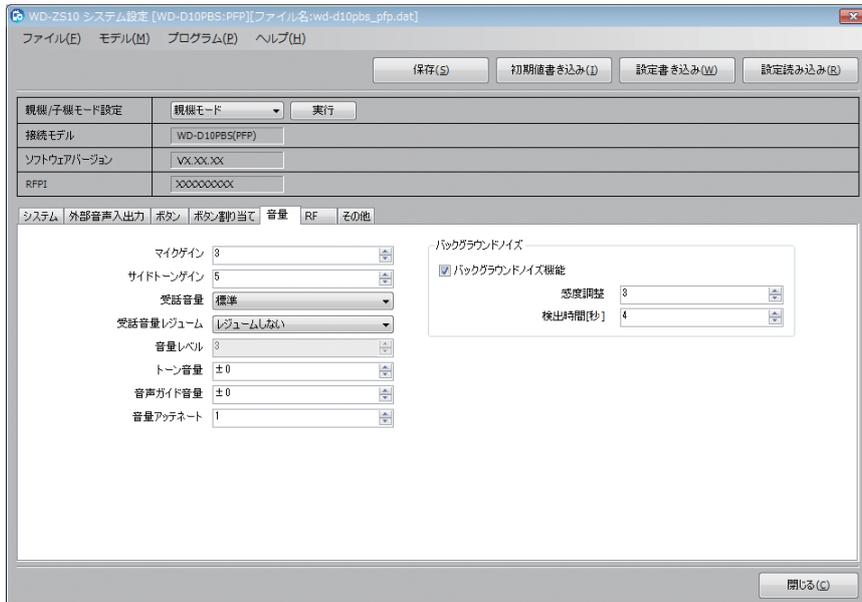
メモ：

- システム設定 (☞ 15 ページ) の「音質モード」を「高音質」に設定すると、「グループ切り替え」のグループ C と D は使用できません。
- ボタン設定 (☞ 17 ページ) の「トークボタン動作」で「機能連動」を「連動しない」に設定すると、「機能」の「機能 1/2 ボタン (長押し)」と「一斉ボタン (長押し)」で「外部無線連絡 (トーク連動)」が表示されます。

アプリケーションを使う

■ 音量

音量に関する設定をします。



*：初期設定値

項目	設定値	内容	
マイクゲイン	1～5 (3*)	マイクの入力音量を設定します。	
サイドトーンゲイン	Off、1～5*	サイドトーン（イヤホンから聞こえる自分の声）の音量を設定します。	
受話音量	大／標準*	受話音量を設定します。	
受話音量レギューム	レギュームする／ レギュームしない*	端末の電源を入れたときに、電源を切ったときに設定されていた受話音量にするか否かを設定します。	
音量レベル	1～15 (3*)	音量レベルを設定します。	
トーン音量	-2～+2 (±0*)	再生するトーンの音量を設定します。	
音声ガイド音量	-2～+2 (±0*)	再生するガイドの音量を設定します。	
音量アッテネート	1*～15	WD-D10PBS または WD-D10TR の [▼] ボタンを長押ししたときに一時的に下げる音量のレベルを設定します。	
バックグラウンドノイズ	バックグラウンドノイズ機能	チェック／チェックなし*	
	感度調整	1～5 (5*)	バックグラウンドノイズ機能の検出感度を設定します。設定したレベル以下になった場合、受話を消音（ミュート）します。
	検出時間	1～10 秒 (4 秒*)	バックグラウンドノイズ機能のバックグラウンドノイズカット無音検出時間を設定します。

アプリケーションを使う

■ RF

システムのモードに関する設定をします。



*：初期設定値

項目	設定値	内容
DECT モード	JAPAN2CH / JAPAN5CH*	DECT モードを設定します。
送信出力	小 / 大 *	送信出力を設定します。
PIN コード	0000* ~ 9999	PIN コードを設定します。

アプリケーションを使う

■ その他

音声ガイド、トーン鳴動などの設定をします。



*：初期設定値

項目	設定値	内容
充電時端末動作	自動電源 OFF する／ 自動電源 OFF しない	充電台に WD-D10PBS を装着する際に端末の電源を自動で切るか、切らないかを設定します。
音声ガイド	接続グループ番号 リスニングモード起動 端末登録モード起動 機種判別 電池残量 エラー通知	チェック * / チェックなし 音声ガイドのオンオフを設定します。
トーン鳴動	無効音 電池残量警告通知音 電池残量警告音 端末異常音 キー操作音 リスニングトーク 一斉開始音 外部機器制御音 キーロック通知音 モード切替音 終了音 音量変更音	チェック * / チェックなし トーン鳴動のオンオフを設定します。
	チェック / チェックなし *	

メモ：

- その他設定の「充電時端末動作」を「自動電源 OFF しない」に設定すると、WD-D10PBS 1 台を充電台に装着した状態で充電しながら親機として運用することができます。
- 外部音声入出力設定 (P.16 ページ) の「モード」を「外部無線連絡」に設定すると、その他設定の「充電時端末動作」は「自動 OFF する」になります。

WD-D10PBS（子機モード） / WD-D10TR 設定

■ システム

システムに関する設定をします。



*：初期設定値

項目	設定値	内容
運用モード	ノーマルモード* / リスニングモード	本機の電源を入れたときの運用モードを設定します。
電源起動時の所属グループ	レジューム* / グループ A / グループ B / グループ C / グループ D	電源起動直後に本機が所属するグループを設定します。「レジューム」に設定すると、前回電源を切ったときに所属していたグループに接続します。
ベース選択	オート* / ベース 1 ~ ベース 6	接続させるベースステーション（親機）を選択します。 親機が複数稼働しているシステムの場合、子機を毎回決まった親機に接続させるには、「端末登録」の端末設定リストに表示される番号順と、「ベース選択」の番号を一致させることで子機を毎回決まった親機に接続させることができます。
リスニングトーク解除時間	0 ~ 10 秒 (4 秒*)	リスニングトーク時にトークボタンをはなしてから切断するまでの時間を設定します。

メモ：

- 「運用モード」を「リスニングモード」に設定すると、「VOX」による通話ができなくなります。

アプリケーションを使う

■ ボタン

ボタン動作に関する設定をします。



「トークボタン動作」の「機能連動」を「外部無線連絡」に設定すると追加表示される設定画面例



「トークボタン動作」の「機能連動」を「放送」に設定すると追加表示される設定画面例



*：初期設定値

項目	設定値	内容
長押し時間	0.5 ～ 5.0 秒 (1.0 秒 *)	ボタンの長押し判定時間を設定します。
本体トークボタン	チェック／チェックなし *	本機のトークボタンを使用するか否かを設定します。コントロールマイクロホンのトークボタンと本機のトークボタンの両方を使用する場合はチェックを付けます。
トークボタン動作	トーク * / ホールド / VOX	トークボタンを押したときの動作設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> トーク： トークボタンを押している間、通話することができます。 ホールド： トークボタンを一度押すと通話状態になり、もう一度押すと通話を終了します。 VOX： 音声に反応して自動的にマイクが ON になります。トークボタンを押すことなくハンズフリー通話ができます。
機能連動	連動しない * / 外部無線連絡 / 放送	「トークボタン動作」を「トーク」または「ホールド」に設定した場合に表示されます。トークボタンの動作に外部無線連絡や放送の開始、終了を連動させるか否かを設定します。
外部無線連絡	1* / 2	「機能連動」を「外部無線連絡」に設定している場合に表示されます。トークボタンを押したときの外部無線連絡先を設定します。
開始連動	連動しない * / 連動する	「機能連動」を「外部無線連絡」に設定している場合に表示されます。トークボタンが ON されたとき、外部無線連絡開始を連動させるか否かを設定します。
終了連動	連動しない * / 連動する	「機能連動」を「外部無線連絡」に設定している場合に表示されます。トークボタンが OFF されたとき、外部無線連絡終了を連動させるか否かを設定します。
放送	放送 1+ 放送 2 / 放送 1* / 放送 2	「機能連動」を「放送」に設定している場合に表示されます。トークボタンを押したときの放送先を設定します。
放送時受話	受話する / 受話しない *	「機能連動」を「放送」に設定している場合に表示されます。トークボタンの機能連動での放送実行時にインカムグループの受話をさせるか否かを設定します。
開始連動	連動しない * / 連動する	「機能連動」を「放送」に設定している場合に表示されます。トークボタンが ON されたとき、放送開始を連動させるか否かを設定します。
終了連動	連動しない * / 連動する	「機能連動」を「放送」に設定している場合に表示されます。トークボタンが OFF されたとき、放送終了を連動させるか否かを設定します。

アプリケーションを使う

項目		設定値	内容
トークボタン動作	ホールドお知らせ音	チェック／チェックなし*	「トークボタン動作」を「ホールド」に設定した場合に、通話状態のオンまたはオフ時に切り換え音をならすか否かを設定します。
	ホールド自動オフ時間	無制限*、10～1800秒	「トークボタン動作」を「ホールド」に設定した場合に、トークボタンを押して通話状態になってから自動で通話を終了するまでの時間を設定します。
	VOX 感度調整	1～5 (3*)	「トークボタン動作」を「VOX」に設定した場合の通話音声の検出感度を設定します。
	VOX 終了遅延時間	0～10秒 (4秒*)	「トークボタン動作」を「VOX」に設定した場合の通話終了時の無音検出時間を設定します。
メニュー割り当て	ベース選択	チェック*／チェックなし	WD-D10PBS および WD-D10TR の設定メニューモードで使用する項目を設定します。
	トークボタン動作		
	VOX 感度調整		
	マイクゲイン		
キーロック	キーロック機能	チェック／チェックなし*	キーロック機能を使うか否かを設定します。
	対象ボタン	チェック*／チェックなし	機能1ボタン、機能2ボタン、一斉ボタンそれぞれに対してキーロックのオンオフを設定します。

メモ：

- 「トークボタン動作」の「機能連動」を「放送」に、「開始連動」を「連動しない」に設定すると、「放送時受話」設定はできません。

■ ボタン割り当て

本機の機能ボタンに割り当てる機能を設定します。



* : 初期設定値

項目	設定値	内容	
機能	機能 1 ボタン 機能 2 ボタン 機能 1 ボタン (長押し) 機能 2 ボタン (長押し) 一斉ボタン 一斉ボタン (長押し)	機能なし * / 外部機器制御 / 外部無線連絡 / 放送 / トークボタン動作切替 / グループ切替 / 強制再接続 機能なし * / 外部機器制御 / 外部無線連絡 / 放送 / トークボタン動作切替 / グループ切替 / 強制再接続 / 外部無線連絡 (トーク連動) / 放送 (トーク連動) 機能なし * / 外部機器制御 / 外部無線連絡 / 放送 / トークボタン動作切替 / グループ切替 / 強制再接続 機能なし / 外部機器制御 / 外部無線連絡 / 放送 / トークボタン動作切替 / グループ切替 / 強制再接続 / 外部無線連絡 (トーク連動) / 放送 (トーク連動) / 一斉 *	本機の機能 1 ボタン、機能 2 ボタンに割り当てる機能を設定します。短押しと長押しのそれぞれに機能を割り当てることができます。 本機の一斉ボタンに割り当てる機能を設定します。短押しと長押しのそれぞれに機能を割り当てるすることができます。 「一斉」に設定すると、すべてのグループの端末と通話を行うことができます。
トークボタン	トーク * / ホールド / VOX	「機能」を「トークボタン動作切替」に設定した場合に設定できます。割り当てられたボタンを押すと一時的に切り換えわるトークボタン動作を設定します。	
グループ切り替え	A B C D	「機能」を「グループ切替」に設定した場合に設定できます。切り換え対象グループを設定します。	
制御端子	1* / 2	「機能」を「外部機器制御」に設定した場合に設定できます。制御の対象になる端子を選択します。	
外部無線連絡	1* / 2	「機能」を「外部無線連絡」に設定した場合に設定できます。連絡する外部無線の接続端子を選択します。	
放送	放送 1+ 放送 2 / 放送 1* / 放送 2	「機能」を「放送」に設定した場合に設定できます。放送先となる放送グループを選択します。	
放送時受話	受話する / 受話しない *	「機能」を「放送」に設定した場合に設定できます。放送中にグループ通話の音声を受話するか否かを設定します。	

メモ :

- ボタン設定 (23 ページ) の「トークボタン動作」を「連動しない」に設定すると、「機能」の「機能 1/2 ボタン (長押し)」と「一斉ボタン (長押し)」で「外部無線連絡 (トーク連動)」と「放送 (トーク連動)」が表示されます。

アプリケーションを使う

■ 音量

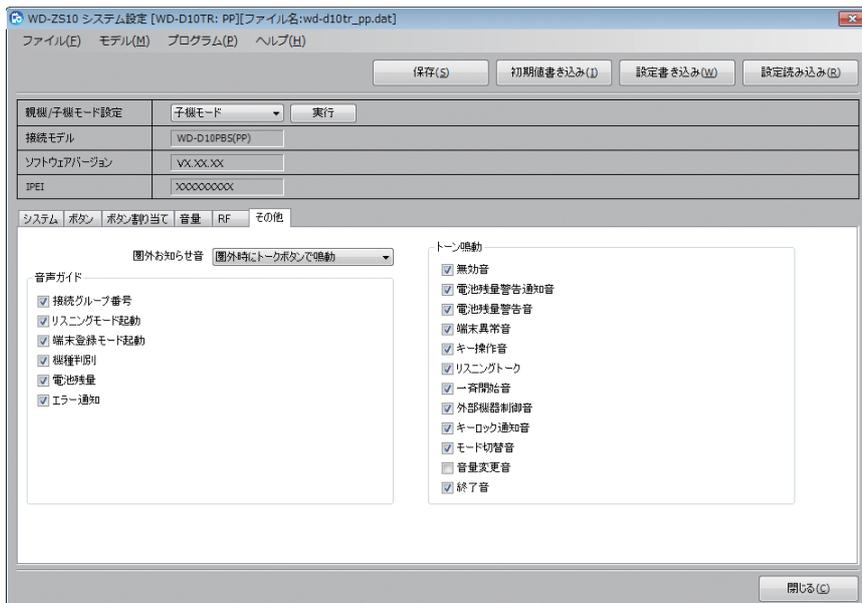
音量に関する設定をします。
設定内容は「WD-D10PBS（親機モード）設定」の「音量」（☞ 19 ページ）と同じです。

■ RF

システムのモードに関する設定をします。
設定内容は「WD-D10PBS（親機モード）設定」の「RF」（☞ 20 ページ）と同じです。

■ その他

音声ガイド、トーン鳴動などの設定をします。



*：初期設定値

項目		設定値	内容
圏外お知らせ音		圏外時常に鳴動しない／ 圏外時常に鳴動／ 圏外時トークボタンで鳴動*	圏外時の圏外音を鳴動させるか否か設定します。
音声ガイド	接続グループ番号	チェック* / チェックなし	音声ガイドのオンオフを設定します。
	リスニングモード起動		
	端末登録モード起動		
	機種判別		
	電池残量		
	エラー通知		
トーン鳴動	無効音	チェック* / チェックなし	トーン鳴動のオンオフを設定します。
	電池残量警告通知音		
	電池残量警告音		
	端末異常音		
	キー操作音		
	リスニングトーク		
	一斉開始音		
	外部機器制御音		
	キーロック通知音		
	モード切替音		
	終了音		
	音量変更音	チェック / チェックなし*	

WD-D10BS 設定

■ システム

システムに関する設定をします。



*：初期設定値

項目	設定値	内容	
音質モード	通常音質 * / 高音質	音質を設定します。	
VOX 感度調整	小 * / 中 / 大	外部機器からの音声入力などで送信するときに、音声の検出感度を設定します。	
VOX 終了遅延時間	1 ~ 5 (1*)	外部機器からの音声入力などで送信を終了するときに、音声の無音検出時間を設定します。	
一斉時連動	連動しない * / 外部制御 1 / 外部制御 2 / 外部無線連絡 1 / 外部無線連絡 2	一斉通話時に外部機器制御機能や外部無線連絡機能と連動するかどうかを設定します。	
一斉解除時間	無制限 *、10 ~ 1800 秒	一斉状態を強制的に解除する時間を設定します。	
外部無線連絡解除時間	無制限、10 ~ 1800 秒 (60 秒 *)	外部無線連絡状態を強制的に解除する時間を設定します。	
放送解除時間	無制限 *、10 ~ 1800 秒	放送状態を強制的に解除する時間を設定します。	
外部機器制御解除時間	無制限 *、10 ~ 1800 秒	外部機器制御状態を強制的に解除する時間を設定します。	
リスニング電波送出	A B C D	チェック / チェックなし *	
音声チャンネル	グループ A	音声チャンネル 1* / 2 / 3 / 4	グループ A ~ D に音声チャンネル 1 ~ 4 を割り当てます。ひとつのグループに対して、複数の音声チャンネルを設定することもできます。
	グループ B	音声チャンネル 1 / 2* / 3 / 4	
	グループ C	音声チャンネル 1 / 2 / 3* / 4	
	グループ D	音声チャンネル 1 / 2 / 3 / 4*	

メモ：

- システム設定の「音質モード」を「高音質」に設定すると、「通常音質」に対して複数の通信を束ねて通信の帯域幅を拡大することで高音域の音も伝送でき、「通常音質」よりも明瞭でより聞き取りやすい高音質モードでの通話が可能となります。
- システム設定の「リスニング電波送出」は通信チャンネルを使用するため、グループを増やした場合、子機の最大接続台数に影響があります。通常音質モードでは、2 グループ以上チェックした場合、最大接続台数が 1 台ずつ減少します。高音質モードでは、1 グループ以上チェックした場合、最大接続台数が 1 台ずつ減少します。
- 高音質モードの場合、「リスニング電波送出」と「音声チャンネル」で利用できるグループは、外部音声入出力設定 (28 ページ) の「外部音声入力 1」および「外部音声入力 2」で選択したモードによって異なります。詳しくは「外部音声入出力モードの組み合わせによる利用できるグループの設定」(30 ページ) をご覧ください。

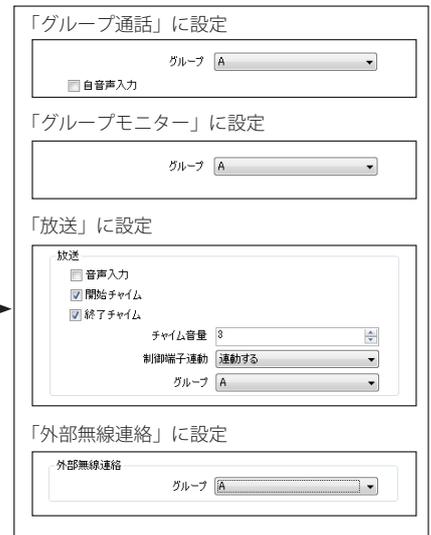
アプリケーションを使う

■ 外部音声入出力

外部音声の入出力に関する設定を行います。



「外部音声入出力1 / 2」の「モード」の設定によって追加表示される設定画面例



*：初期設定値

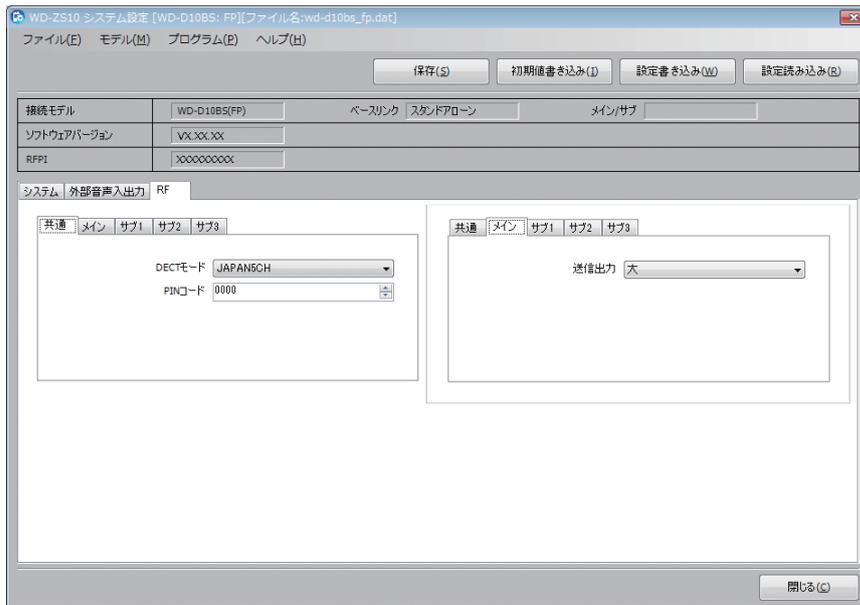
項目	設定値	内容	
モード	設定なし* / グループ通話 / グループモニター / 放送 / 外部無線連絡	外部音声入出力のモードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> グループ通話：設定したグループに外部機器から音声を入力したり、グループ通話の音声を外部機器へ出力します。 グループモニター：グループ通話の音声を外部機器へ出力します。 放送：接続された放送機器にグループ通話の音声を出力します。 外部無線連絡：接続された外部無線機器との間で、音声の入出力を行います。 	
制御端子	接点：メーク* / ブレーク 制御時間：無制限* ~ 10000 ミリ秒	外部制御端子がオンとなったときの極性を選択します。 外部機器制御端子に接続された外部機器の制御時間を設定します。	
グループ	A* / B / C / D	外部から音声を入力、または外部へ音声を出力するグループを設定します。	
自音声入力	チェック / チェックなし*	外部音声入力からの音声を、外部音声出力に出力するか否かを設定します。	
放送	音声入力	チェック / チェックなし*	放送中に外部音声入力端子から入力された音声を、グループ通話として送信するか否かを設定します。
	開始チャイム	チェック* / チェックなし	放送開始時の開始音を鳴動させるか否かを設定します。
	終了チャイム	チェック* / チェックなし	放送終了時の終了音を鳴動させるか否かを設定します。
	チャイム音量	1 ~ 5 (3*)	チャイム音量を設定します。
	制御端子連動	連動しない / 連動する*	放送の開始、終了時に制御端子に連動するか否かを設定します。
グループ	A* / B / C / D	「音声入力」にチェックを付けた場合、外部音声入力端子からの音声を送信するグループを設定します。	

メモ：

- 「グループ」は、「モード」を「グループ通話」または「グループモニター」に設定したときのみ表示されます。
- 「自音声入力」は、「モード」を「グループ通話」に設定したときのみ表示されます。
- 「放送」は、「モード」を「放送」に設定したときのみ表示されます。
- システム設定 (☞ 27 ページ) の「音質モード」を「高音質」に設定すると、「グループ」で利用できるグループは、外部音声入出力設定の「外部音声入力1」および「外部音声入力2」で設定したモードによって異なります。詳しくは「外部音声入出力モードの組み合わせによる利用できるグループの設定」(☞ 30 ページ) をご覧ください。

アプリケーションを使う

RF



システムのモードに関する設定をします。

*：初期設定値

項目	設定値	内容	
共通	DECT モード	JAPAN2CH / JAPAN5CH*	DECT モードを設定します。
	PIN コード	0000* ~ 9999	PIN コードを設定します。
メイン / サブ1 / サブ2 / サブ3	送信出力	小 / 大* / OFF	送信出力を設定します。

メモ：

- 送信出力を OFF にすると、親機の無線機能が停止し電波が出力されなくなるため、子機と接続ができません。小または大を選択してください。

アプリケーションを使う

■ 音質モードと外部音声入出力モードの組み合わせによるグループの設定

システム設定 (☞ 27 ページ) の「リスニング電波送出」および「音声チャンネル」、外部音声入出力設定 (☞ 28 ページ) の「グループ」で利用できるグループは、システム設定の「音質モード」および外部音声入出力の「モード」の組み合わせによって、以下のように異なります。

● システム設定の「音質モード」を「通常音質」に設定したとき

外部音声入出力の「モード」		利用できるグループ			
外部音声入出力 1	外部音声入出力 2	グループ A	グループ B	グループ C	グループ D
設定なし	設定なし	○	○	○	○
設定なし	グループ通話	○	○	○	○
設定なし	グループモニター	○	○	○	○
設定なし	放送 / 外部無線連絡	○	○	○	—
グループ通話	設定なし	○	○	○	○
グループ通話	グループ通話	○	○	○	○
グループ通話	グループモニター	○	○	○	○
グループ通話	放送 / 外部無線連絡	○	○	○	—
グループモニター	設定なし	○	○	○	○
グループモニター	グループ通話	○	○	○	○
グループモニター	グループモニター	○	○	○	○
グループモニター	放送 / 外部無線連絡	○	○	○	—
放送 / 外部無線連絡	設定なし	○	○	○	—
放送 / 外部無線連絡	グループ通話	○	○	○	—
放送 / 外部無線連絡	グループモニター	○	○	○	—
放送 / 外部無線連絡	放送 / 外部無線連絡	○	○	—	—

○：利用できます。

—：利用できません。

● システム設定の「音質モード」を「高音質」に設定したとき

外部音声入出力の「モード」		利用できるグループ			
外部音声入出力 1	外部音声入出力 2	グループ A	グループ B	グループ C	グループ D
設定なし	設定なし	○	○	—	—
設定なし	グループ通話	○	○	—	—
設定なし	グループモニター	○	○	—	—
設定なし	放送 / 外部無線連絡	○	—	—	—
グループ通話	設定なし	○	○	—	—
グループ通話	グループ通話	○	○	—	—
グループ通話	グループモニター	○	○	—	—
グループ通話	放送 / 外部無線連絡	○	—	—	—
グループモニター	設定なし	○	○	—	—
グループモニター	グループ通話	○	○	—	—
グループモニター	グループモニター	○	○	—	—
グループモニター	放送 / 外部無線連絡	○	—	—	—
放送 / 外部無線連絡	設定なし	○	—	—	—
放送 / 外部無線連絡	グループ通話	○	—	—	—
放送 / 外部無線連絡	グループモニター	○	—	—	—
放送 / 外部無線連絡	放送 / 外部無線連絡	※	※	※	※

○：利用できます。

—：利用できません。

※：システム設定の「音質モード」を「高音質」に設定したときは、外部音声入出力 1 と 2 の「モード」を両方「放送」または「外部無線連絡」にすることはできません。

ログ表示

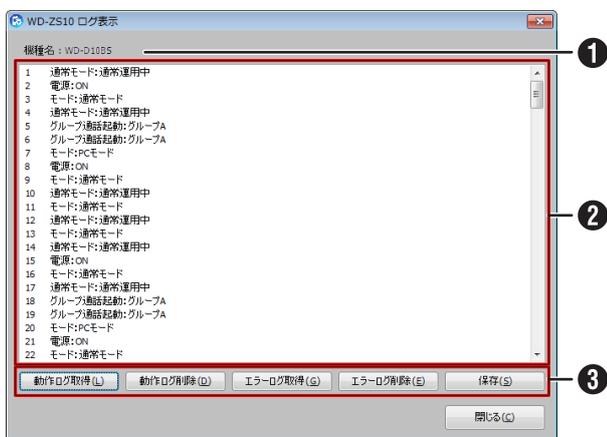
PC に接続した端末から動作ログ、またはエラーログを全件取得し、表示されます。取得したログは、CSV 形式でファイルへ出力することができます。

ログ表示を開く

- 1 ランチャーダイアログで「ログ表示」をクリックする

ログ表示画面が開きます。

■ ログ表示画面



① 機種名

PC に接続されている端末のモデル名が表示されます。

② ログ表示部

動作ログ、またはエラーログが時系列順に表示されます。

③ 操作ボタン

ボタン	内容
動作ログ取得	動作ログを取得し表示されます。
動作ログ削除	接続されている端末の動作ログを削除します。
エラーログ取得	エラーログを取得し表示されます。
エラーログ削除	接続されている端末のエラーログを削除します。
保存	取得したログ情報を、CSV ファイルとして保存します。
閉じる	ログ表示画面を閉じます。

メモ：

- 端末を PC に接続してから取得操作や削除操作を行ってください。

接続状況確認

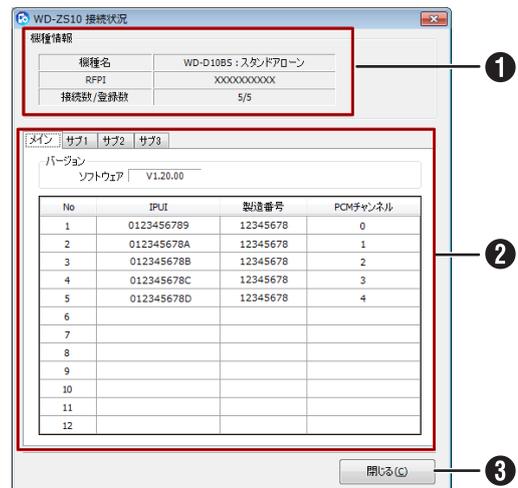
PC に接続している端末の接続状況を確認します。

接続状況表示を開く

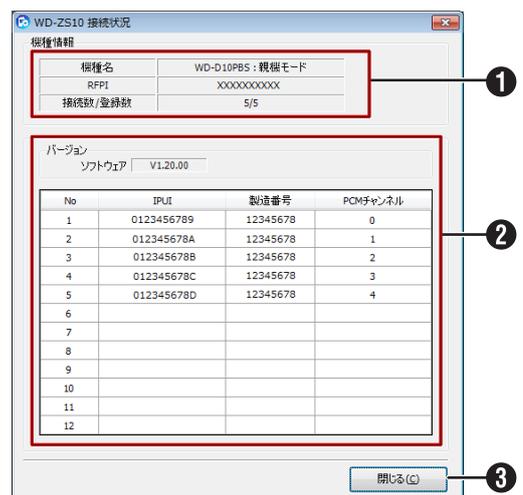
- 1 端末を PC に接続し、ランチャーダイアログで「接続状況表示」をクリックする

接続状況表示画面が開きます。

■ 接続状況確認画面 (WD-D10BS 親機モード)



■ 接続状況確認画面 (WD-D10PBS 親機モード)



① 機種情報表示部

項目	内容
機種名	PC に接続されている親機のモデル名が表示されます。
RFPI	PC に接続されている親機の端末 ID が表示されます。
接続数/登録数	親機へ接続している子機の台数 (左側) と親機に登録されている子機の台数 (右側) が表示されます。

アプリケーションを使う

② 接続状況表示部

WD-D10BS がベースリンク接続の場合、メイン、サブ1～3 までの情報が表示されます。

項目	内容
No	スロット1～12 までが表示されます。
IPUI	各スロットに接続している子機の ID が表示されます。
製造番号	各スロットに接続している子機の製造番号が表示されます。
PCM チャンネル	各スロットに接続されている子機の周波数チャンネルが表示されます。

③ [閉じる] ボタン

接続状況確認画面を閉じます。

■ 接続状況確認画面 (WD-D10PBS 子機モード / WD-D10TR)



① 機種情報表示部

項目	内容
機種名	PC に接続されている子機のモデル名が表示されます。
IPUI	PC に接続されている子機の ID が表示されます。
製造番号	PC に接続されている子機の製造番号が表示されます。
バージョン	現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。

② 親機情報表示部

項目	内容
RFPI	親機の端末 ID が表示されます。
製造番号	親機の製造番号が表示されます。

③ [閉じる] ボタン

接続状況確認画面を閉じます。

ご注意：

- 端末がリスニングモードに入っている場合は接続状況の確認を行うことはできません。

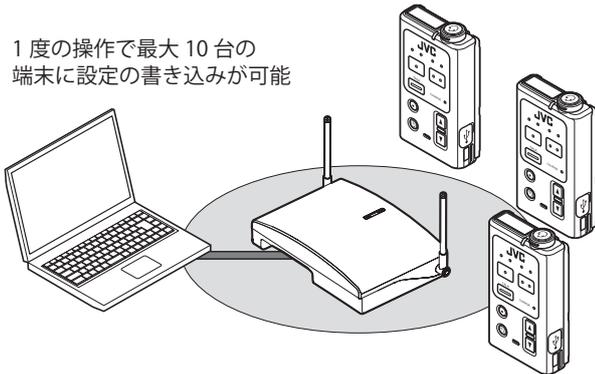
無線設定更新

システム設定で作成したファイルを使い、無線通信を使って子機に同じ設定を書き込むことができます。

親機・子機のファームウェアのバージョンが 1.10 以降でないと、無線での設定更新ができません。ファームウェアを最新のバージョンに更新のうえお使いください。

ファームウェア更新については、「ファームウェア更新」(☞ 35 ページ) をご覧ください。

1 度の操作で最大 10 台の
端末に設定の書き込みが可能



メモ：

- 一度に設定を書き込める子機の台数は通常音質モードで最大 10 台まで、高音質モードで最大 5 台までです。制限台数以上の子機へ書き込みを行うには、台数を区切って書き込みを実施してください。(完了した端末は電源を切ってください。)
- 無線設定更新中は、電波干渉による通信失敗を回避するため、対象端末以外の端末の電源を切ることをおすすめします。
- WD-D10BS を利用するベースリンク型システムでの PC と WD-D10BS の接続は、メイン親機と PC を接続します。
- ベースリンク型システムでは、メイン親機に無線接続している子機にのみ設定更新ができます。そのため、更新を行うにはメイン親機の圏内に子機を移動させてください。
- WD-D10PBS (親機モード) では、一斉および、外部無線連絡中に無線設定更新は実施できません。
- WD-D10BS での制限は上記のほか、放送、外部機器制御中の場合も同様です。
- リスニングモードに設定中の端末は、無線での設定更新ができません。
- 設定データは、念のため事前にバックアップしておくことをおすすめします。

ご注意：

- 無線設定更新中は、子機を PC に接続しないでください。

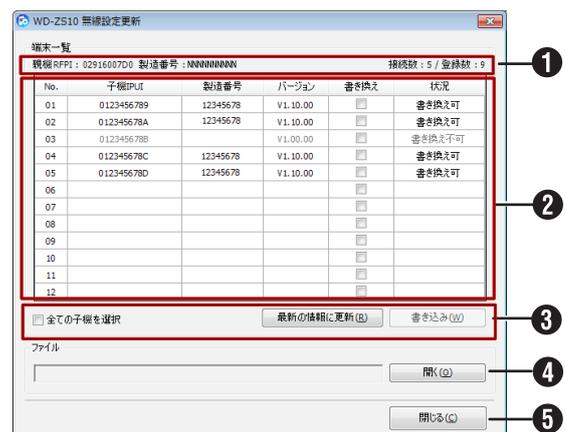
設定を書き込む

- 1 親機 (WD-D10PBS または BS) を PC に接続する
PC に USB ケーブル (A タイプ - Micro B タイプ) (別売) で親機を接続します。
- 2 親機に WD-D10BS を使用のときは、ここで電源を入れる
電源の入れ方については「端末の電源の入れ方を入れる/切る」(☞ 39 ページ) をご覧ください。
- 3 設定を書き込みたい子機を登録する
WD-D10PBS または BS に端末登録を行なう。(☞ 8 ページ)
- 4 ランチャーダイアログで「無線設定更新」をクリックする



無線設定更新画面を開きます。
親機に WD-D10PBS を使用のときは、ここで電源が入ります。

無線設定更新画面



① 端末一覧 (親機情報表示部)

項目	内容
親機 RFPI	PC に接続されている親機の端末 ID が表示されます。
製造番号	PC に接続されている親機の製造番号が表示されます。
接続数/登録数	親機へ接続されている子機の台数 (左側) と親機に登録されている子機の台数 (右側) が表示されます。

アプリケーションを使う

② 端末一覧 (子機情報表示部)

項目	内容
No	スロット 1 ~ 12 までが表示されます。
子機 IPUI	各スロットに接続されている子機の ID が表示されます。
製造番号	各スロットに接続されている子機の製造番号が表示されます。
バージョン	現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。
書き換え 状況	設定の書き込みを行う子機にチェックする。 各スロットに接続されている子機の状況が表示されます。

メモ：

無線設定更新画面で子機の状況が確認できます。

表示	内容
書き換え可	書き込み可能な端末
書き換え不可	書き込みできない端末
準備中	書き込みの指示は出ているが、書き込み開始前の状態
書き込み中	書き込み実施中
完了	書き込み完了
失敗	何らかの原因にて書き込みができなかった

③ 操作ボタン

項目	内容
[すべての子機を選択]	各スロットに接続されている書き換え可能な子機すべての「書き換え」チェックボックスにチェックする。
[最新の情報に更新]	各スロットに接続されている子機の情報を更新します。
[書き込み]	「書き換え」チェックボックスにチェックされている子機の設定更新を開始します。

④ [開く] ボタン

システム設定で作成したファイルを開きます。

⑤ [閉じる] ボタン

無線設定更新画面を閉じます。

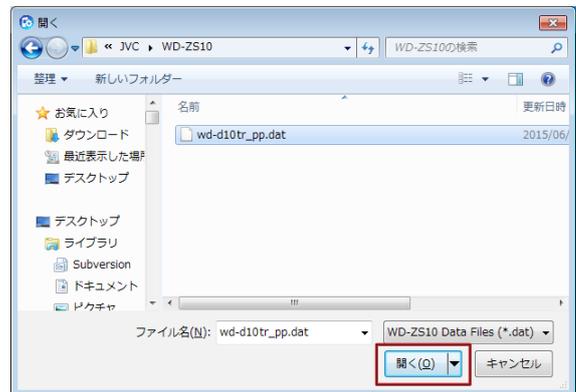
5 子機の電源を入れる

電源の入れ方については「端末の電源の入れ方を入れる/切る」(P.39 ページ) をご覧ください。

6 [最新の情報に更新] をクリックし、端末の状況を確認する

7 無線設定更新画面の [開く] をクリックし、設定ファイルを選択する

8 設定ファイルを選択し、[開く] をクリックする



選択されたファイルが無線設定更新画面に表示されます。

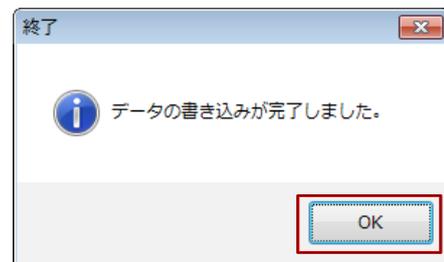
9 無線設定更新画面の「書き換え」チェックボックスで更新する端末をチェックし、[書き込み] をクリックする。



設定更新を開始します。

10 更新完了のメッセージを確認し、[OK] をクリックする

設定の更新が完了します。



ファームウェア更新

端末のファームウェアを更新します。
更新作業を行う前に、端末に対応したファームウェアをお使いの PC にダウンロードしてください。
無線でのファームウェア更新を行いたい場合、親機・子機のファームウェアのバージョンが 1.10 以降でないといけません。
有線にて最新のバージョンに更新してください。

最新版のファームウェアは弊社ウェブサイトから入手することができます。
https://www3.jvckenwood.com/pro/soft_dl/index.html

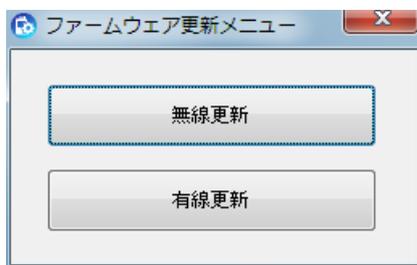
ご注意：

- ファームウェアの更新はお客様の責任において実行してください。
- ファームウェアの更新で適用されるソフトは対象製品専用です。その他の機器で使用しないでください。
- WD-D10PBS または WD-D10TR はバッテリーをフル充電してからファームウェアを更新してください。

ファームウェア更新画面を開く

1 ランチャーダイアログで「ファームウェア更新」をクリックする

ファームウェア更新メニュー画面が開きます。

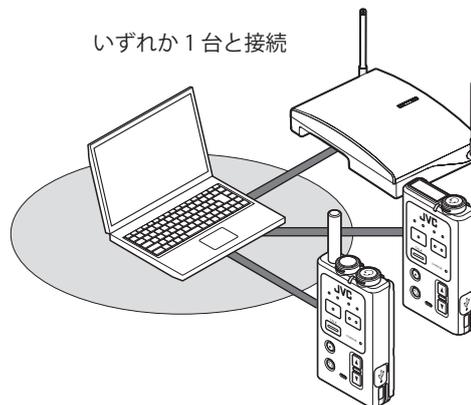


有線でファームウェアを更新する

PC に端末 1 台を接続し、端末のファームウェアを更新します。

1 端末を PC に接続する

PC に USB ケーブル (A タイプ - Micro B タイプ) (別売) で端末 1 台を接続します。



メモ：

- PC に 2 台以上同時に端末を接続することはできません。ファームウェア更新を行う 1 台のみを接続してください。

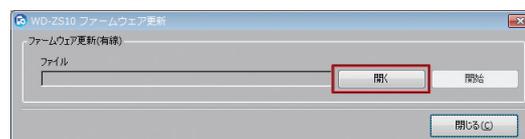
2 ファームウェア更新メニュー画面の「有線更新」をクリックする

ファームウェア更新 (有線) 画面が開きます。

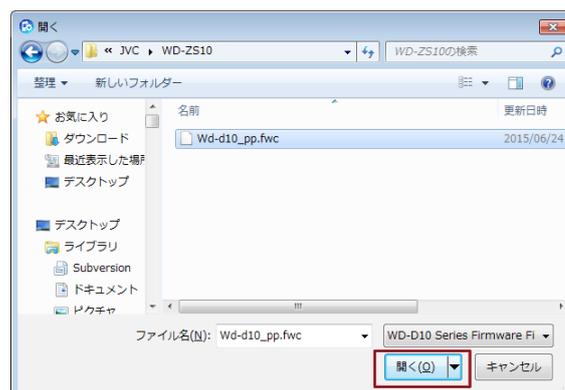
3 WD-D10BS はここで電源を入れる

電源の入れ方については「端末の電源の入れ方を入れる/切る」(P.39 ページ) をご覧ください。

4 「ファームウェア更新 (有線)」の [開く] をクリックし、ファームウェアファイルを選択する



5 ファームウェアファイルを選択し、[開く] をクリックする。



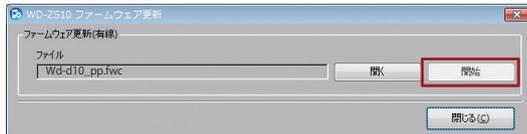
アプリケーションを使う

選択されたファイル名がファームウェア更新画面に表示されます。

メモ： _____

- 接続されている端末に対応したファームウェアファイルを選択してください

6 [開始] をクリックする



ファームウェア更新を開始します。

メモ： _____

- WD-D10BS に対してファームウェア更新を行う場合、以下の警告メッセージが表示されます。ファームウェア更新を続行するには、[OK] をクリックします。



7 更新完了のメッセージを確認し、[OK] をクリックする

ファームウェアの更新が完了します。



無線でファームウェアを更新する

PCに親機（WD-D10PBSまたはBS）を接続し、無線で端末のファームウェアを更新します。

メモ：

- 一度に更新できる子機の台数は通常音質モードで最大10台まで、高音質モードで最大5台までです。制限台数以上の子機を更新するには、台数を区切って更新を実施してください。（完了した端末は電源を切ってください。）
- 無線でのファームウェア更新中は、電波干渉による通信失敗を回避するため、対象端末以外の端末の電源を切ることをおすすめします。
- WD-D10BS を利用するベースリンク型システムでのPCとWD-D10BSの接続は、メイン親機とPCを接続します。
- ベースリンク型システムでは、メイン親機に無線接続している子機にのみ、ファームウェア更新が行えます。そのため、更新を行うにはメイン親機の圏内に子機を移動させてください。
- ベースリンク型システムに接続する親機のファームウェアのバージョンは混用せず統一してください。
- WD-D10PBS（親機モード）では、一斉および、外部無線連絡中にファームウェア更新は実施できません。
- WD-D10BS での制限は上記のほか、放送、外部機器制御中の場合も同様です。
- リスニングモードに設定中の端末は、無線でのファームウェア更新ができません。

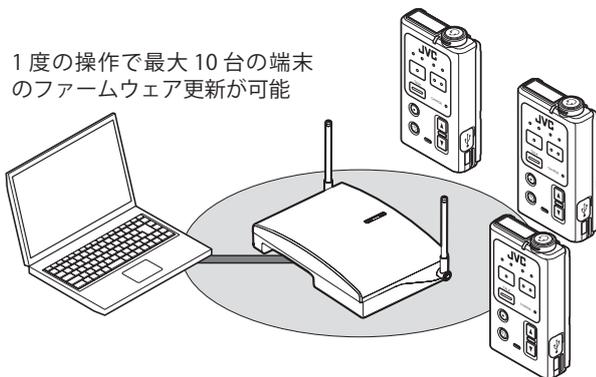
ご注意：

- ファームウェア更新中は、子機をPCに接続しないでください。

1 親機 (WD-D10PBS または BS) を PC に接続する

PCにUSBケーブル（Aタイプ - Micro Bタイプ）（別売）で親機（WD-D10PBS または BS）を接続します。

1度の操作で最大10台の端末のファームウェア更新が可能



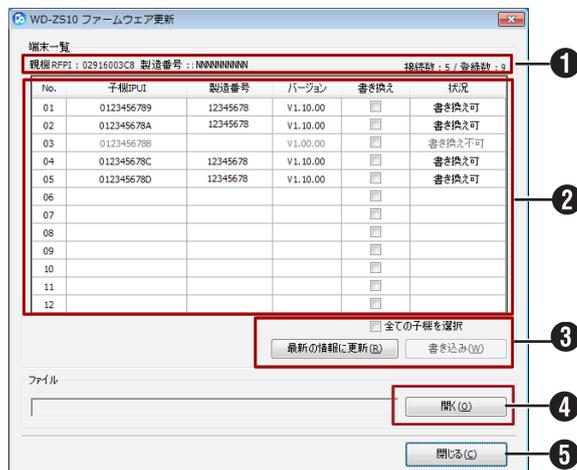
2 親機に WD-D10BS を使用のときは、ここで電源を入れる

電源の入れ方については「端末の電源の入れ方を入れる/切る」(P.39 ページ) をご覧ください。

3 ファームウェア更新メニュー画面の「無線更新」をクリックする

ファームウェア更新画面を開きます。親機にWD-D10PBSを使用のときは、ここで電源が入ります。

■ ファームウェア更新画面



① 端末一覧（親機情報表示部）

項目	内容
親機 RFPI	PCに接続されている親機の端末IDが表示されます。
製造番号	PCに接続されている親機の製造番号が表示されます。
接続数/登録数	親機へ接続されている子機の台数（左側）と親機に登録されている子機の台数（右側）が表示されます。

② 端末一覧（子機情報表示部）

項目	内容
No	スロット1～12までが表示されます。
子機 ID	各スロットに接続されている子機のIDが表示されます。
製造番号	各スロットに接続されている子機の製造番号が表示されます。
バージョン	現在のソフトウェアのバージョンが表示されます。
書き換え	ファームウェア更新を行う子機にチェックする。
状況	各スロットに接続されている子機の状況が表示されます。

メモ：

ファームウェア更新画面で子機の状況が確認できます。

表示	内容
書き換え可	書き込み可能な端末
書き換え不可	書き込みできない端末
準備中	書き込みの指示は出ているが、書き込み開始前の状態
書き込み中	ファームウェア更新実施中
完了	ファームウェア更新完了
失敗	何らかの原因にて更新ができなかった

アプリケーションを使う

③ 操作ボタン

項目	内容
[すべての子機を選択]	各スロットに接続されている書き換え可能な子機すべての「書き換え」チェックボックスにチェックする。
[最新の情報に更新]	各スロットに接続されている子機の情報を更新します。
[書き込み]	「書き換え」チェックボックスにチェックされている子機のファームウェア更新を開始します。

④ [開く] ボタン

ファームウェアファイルを開きます。

⑤ [閉じる] ボタン

ファームウェア更新画面を閉じます。

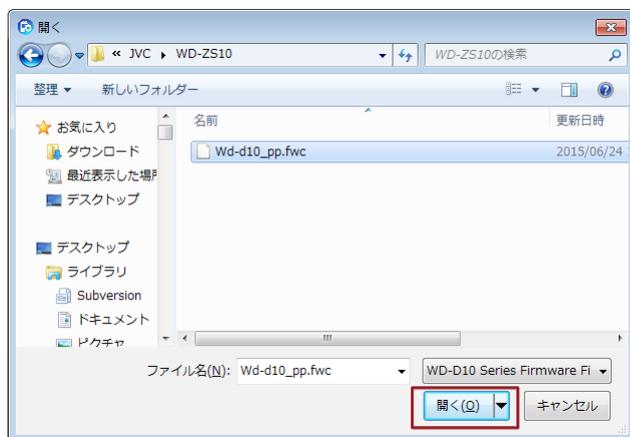
4 子機の電源を入れる

電源の入れ方については「端末の電源の入れ方を入れる/切る」(※ 39 ページ) をご覧ください。

5 [最新の情報に更新] をクリックし、端末の状況を確認する

6 ファームウェア更新画面の [開く] をクリックする。

7 ファームウェアファイルを選択し、[開く] をクリックする。



選択されたファイル名がファームウェア更新画面に表示されます。

メモ：

- 子機のファームウェアファイルを選択してください。

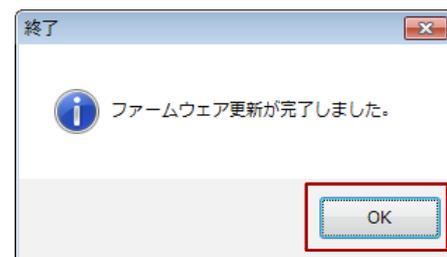
8 ファームウェア更新画面の「書き換え」チェックボックスでファームウェア更新する端末をチェックし、[書き込み] をクリックする。



ファームウェア更新を開始します。

9 すべての端末の更新が完了後、更新完了のメッセージを確認し、[OK] をクリックする

ファームウェアの更新が完了します。

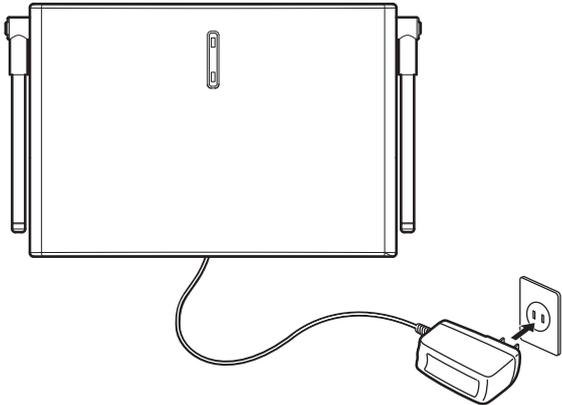


端末の電源を入れる／切る

WD-D10BS の電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

WD-D10BS の AC アダプターを AC コンセントに差し込むと電源が入ります。



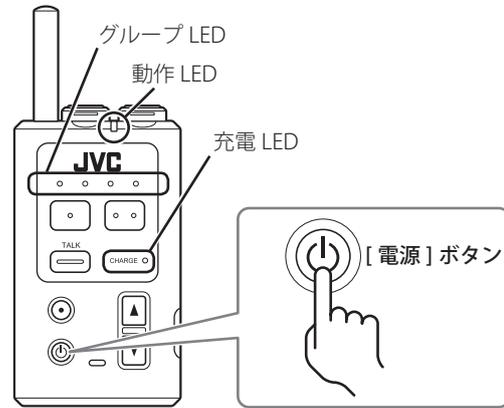
■ 電源を切る

WD-D10BS の AC アダプターを AC コンセントから抜くと電源が切れます。

WD-D10PBS / WD-D10TR の電源を入れる／切る

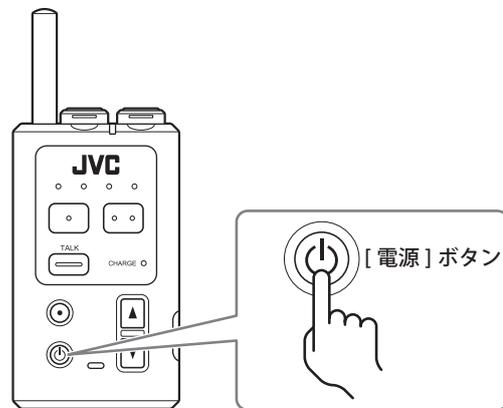
■ 電源を入れる

1 [電源] ボタンを長押しし、動作 LED (赤)、グループ LED、充電 LED が点灯し消灯したら離す。

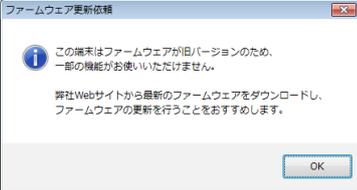
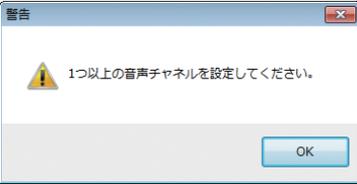
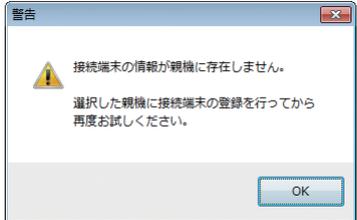


■ 電源を切る

1 動作 LED が消灯するまで [電源] ボタンを長押しする。
点滅状態ではなく、消灯したことをご確認ください。



こんなときは

症状	原因	処置	参照ページ
<p>端末から読み込むと、以下のメッセージを表示する。</p> 	<p>端末のファームウェアが古い。</p>	<p>端末のファームウェアが古いため、WD-ZS10 内や端末の一部機能がお使いいただけません。端末のファームウェア更新を行うことで、快適にお使いいただけます。</p>	<p>※ 35 ページ</p>
<p>無線設定更新や、ファームウェア更新（無線）で子機端末の状況が「書き換え不可」または「失敗」のまま更新できない。</p>	<p>端末のファームウェアが古い。</p>	<p>端末のファームウェアが古いため、書き換えができません。最新のファームウェアを入手して有線でのファームウェア更新を行ってください。</p>	<p>※ 35 ページ</p>
<p>グループの設定で、以下のメッセージが表示される。</p> 	<p>グループをひとつも選択しないで設定を保存しようとした。</p>	<p>グループをひとつも選択しない設定にはできません。必ずひとつ以上のグループを選択してください。</p>	<p>※ 15 ページ ※ 22 ページ</p>
<p>子機に親機を登録しようとすると、以下のメッセージが表示され、登録できない。</p> 	<p>登録しようとしている親機に、子機情報が登録されていない。</p>	<p>登録しようとする親機に、子機情報を登録してから、子機の親機登録を行ってください。</p>	<p>※ 8 ページ</p>
<p>子機に親機を登録しようとすると、以下のメッセージが表示され、登録できない。</p> 	<p>PC に子機が接続されている。</p>	<p>PC に接続されている端末を確認してください。</p>	<p>※ 8 ページ</p>
	<p>PC に接続されている端末が子機モードに設定されている。 (WD-D10PBS のみ)</p>	<p>親機モードに設定してください</p>	<p>※ 13 ページ</p>
<p>親機に子機を登録しようとすると、以下のメッセージが表示され、登録できない。</p> 	<p>PC に親機が接続されている。</p>	<p>PC に接続されている端末を確認してください。</p>	<p>※ 8 ページ</p>
	<p>PC に接続されている端末が親機モードに設定されている。 (WD-D10PBS のみ)</p>	<p>子機モードに設定してください</p>	<p>※ 13 ページ</p>
<p>ファームウェア更新を行うと、以下のメッセージが表示され、更新できない。</p> 	<p>PC に接続している端末と、書き込もうとしたファームウェアの機種種情報が合っていない。</p>	<p>PC に接続している端末とファームウェアの機種種を確認してください。 WD-D10PBS の場合は、親機または子機のモードによりファームウェアが異なります。WD-D10PBS のモードとファームウェアの機種種情報を確認してください。</p>	<p>※ 35 ページ</p>

Memo

**JVC ケンウッド
カスタマーサポートセンター**固定電話からは、フリーダイヤル  0120-2727-87携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル  0570-010-114一部のIP電話など、フリーダイヤル、
ナビダイヤルがご利用になれない場合は 045-450-8950

FAXを送信される場合は 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付日 月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）
受付時間 月～金曜日 9：30～18：00
土曜日 9：30～12：00、13：00～17：30ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>**株式会社 JVCケンウッド**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12